【所属名：総務部総務課】
【会議名：平成 23 年度第１回行政改革推進委員会】

会　議　録

作成日　平成２３年１０月２０日

日	平成２３年１０月２０日	時間	13：30～15：00	場所	201・202 会議室
件名	議題(1) 平成２３年度行政改革の具体的推進について (2) 第２次行政改革実施計画の推進状況について (3) 平成２３年度事務事業評価の結果について (4) その他 その他				
出席者	【出席者】　】　１１人 池田正夫　田鹿一男　中村康司　足立明則　早津邦彦　加藤康太郎 比後和泉　田原洋子　小島光夫　渡辺秀彦　秋山勝男 【欠席者】　４人 【事務局】 総務部：田鹿部長 総務課：渡辺課長　佐々木補佐　池田担当補佐　井川係長　小竹係長 木元主査　宝剣主査 企画財政課：斉藤課長　藤田補佐　山本係長　木島係長　山口係長　渡辺係長				
	傍聴者定員	人	傍聴者数	１人	

会議要旨

１　開会（13：30）
【事務局】　出欠状況について報告
総務部長あいさつ
２　池田会長あいさつ

３　議題
（１）平成２３年度行政改革の具体的推進について
【事務局】　資料№.１について説明。
【出席者】　質疑
委　員
・職員提案制度の見直し（拡充）について、職場実践活動は民間の QC サークルを参考にしているということだが、グループは何人ぐらいなのか 。
・10 人・15 人になるとまとまりがつかなくなるので、そのような人数で進めてほしい。
事務局
・発想としては民間で行われている QC サークルを取り入れているが、行政では課・係といったチームで仕事を行っており、３～５人程度の係で意見を出し合ってチームとしてチャレンジし行政改革を進め、発表会を通して市役所全体で共有化する。
委　員
・定員適正化計画の見直しについて、目標は達成し正職員の人数は減っていると思うが、非正

規職員の人数や割合がどうなっているか。

・臨時職員が増えている理由について、次回に資料を提出していただきたい。

事務局

・臨時職員は、社会保険加入者で平成 17 年度 169 人、平成 23 年度 272 人で、103 人の増になっており、職員数の削減とほぼ同数になっている。増員の主な要因は、国の緊急雇用対策による雇用や未満時保育とか障害児保育にかかるサービス拡充に対応した雇用であるが、次回に整理して提出したい。

委　員

・職員提案制度の見直しについて、職場単位での提案活動は初めてのことだが、全体的な受け止め方は。

・順位や表彰は考えているのか。

・順位をつけるのでなく、庁内で採用していくということが必要でないか。

事務局

・今までは職員個々の提案で、提案者の固定化や減少が進んできたが、もう１回職場から創意工夫し行政改革を進めるという考えで行っている。今のところ始まった段階であるが、各職場の係単位で１件以上の取組を進めている。

・職員提案では優秀なものは表彰しているが、職場単位のものでは順位はつけない。

・まずは職場単位で提出し、いいものは実践に移していく。

（２）第２次行政改革実施計画の推進状況について

【事務局】　資料№.１について説明。

【出席者】　質疑

委　員

・4-6 事務チェック体制の確立について、内部監査で今までどれくらいの指摘があったのか。

事務局

・内部監査は今年度で３年目に入り、指摘は市民に直接影響のある不適正でなく、軽微な不適正であるが、１年目は 50 件程度、２年目は 35 件程度、今年度は昨年度より若干少なく推移している。指摘は、文書等細かな内容であるが、こういった内部監査により徐々に減ってきていると思っている。

委　員

・1-4 経費節減と資源保護について、光熱水費６％以上の削減を目標にしているが、今回の震災による危機意識、市民の理解により大幅に目標を達成している。意識があれば他の部分についても改善が可能であり、ゼロベースで見直しを進めてほしい。

・許認可等の時間を短くするなどスピードを重視するとともに、同じコストでも付加価値を上げることにより市民サービスにつなげていただきたい。また、報告書などが本当に必要なのか、精査して縮小や廃止することを検討してほしい。

事務局

・ご意見のように、効率化ということから報告書等の内部事務のあり方や時間短縮について見直していきたい。

委　員

・1-1 事務事業評価の実施について、職員の中での負担感、やらされ感が高いという原因は何か。

事務局

・事務事業評価について、職員の理解が不足していることもあるが、システム的な問題で毎年度入力する必要がありそれが負担感につながっているため、システムの見直しを検討してい

る。

委　員

・2-3 斎場の管理運営方法の見直しについて、何業者くらいから応募があったのか。

事務局

・斎場の指定管理者は、１者から応募があり９月の選定委員会で選定した。

委　員

・1-10 インターネット等による利便性の向上について、糸魚川市のホームページは充実しているが、携帯版がお粗末である。各種イベント等携帯版を充実させてほしい。

・国道の通行止めについて、ホームページではリンクが張られているが、簡単に検索ができない。いつ通れるのか移動中に検索するので反映させていただきたい。

・電子入札について、新潟県のホームページと市のホームページとの関係がうまくない。

事務局

・今後、ホームページと同様に携帯版を充実させていきたいが、技術的に難しい部分があることもご承知願いたい。

・交通情報をできるだけ反映させていきたいが、時間帯等の問題があり検討したい。

・電子入札は、共同利用により運用しており、技術的な問題点について次回までに調べて回答する。

委　員

・5-1 糸魚川市観光協会の合併による一体的な活動の推進について、観光協会への補助金は一本化したのか。

事務局

・観光協会の補助金は一本化し、その中で振り分けを行っていると思うが、確認して次回報告する。

委　員

・3-1 健全な財政運営について、平成 27 年度問題として合併特例債の終了と地方交付税の減額を前提として計画を立てていたが、合併特例債の期限延長という状況の中で計画の見直しをどう考えているか。

事務局

・今回の後期基本計画では、震災の影響や合併特例債の期限延長を加味していないが、今後状況がはっきりとした時点で加味していく。

委　員

・2-4 保育園・幼稚園の統合・民営化の検討について、庁内検討員会設置はいつごろを目途にしているのか。

・関連してへき地保育所が３カ所あると聞いているが、間違いないか。

・寺島へき地保育所は、どういう状況なのか。

事務局

・現在のところ、いつということは決まっていない。

・へき地保育所は３カ所あり、糸魚川地域に２カ所、青海地域に１カ所ある。青海地域は市営、糸魚川地域は地元の管理運営となっている。

・寺島へき地保育所は過去からの経過があるが、現在隣接の保育園を建設中でもあり地元と検討していく。

・保育園・幼稚園の統合・民営化は市立のものが対象であり、民間の保育園を対象としたものではない。

委　員

・先進的に取り組んでいる事例を取り込んでいくことが必要でないか。

事務局

・先進的に取り組んでいる事例等について、積極的に照会し取り込んでいきたい。

委　員

・3-2 市税等各種徴収金の収納率の向上について、市税現年度分の滞納繰越分 6.8%の目標は滞納している分の 6.8%を徴収するということなのか。非常に低いのでないか。滞納繰越分の金額を明らかにしてほしい。

事務局

・前年度以前に滞納している額の 6.8%ということであり、率としては低い。滞納している場合は、まず現年度分から徴収するということから、どうしても滞納分は固定化してしまうということになる。金額は後ほどお知らせする。

（３）平成２３年度事務事業評価の結果について

【事務局】　資料№.３について説明。

【出席者】　質疑

委　員

・評価で貢献度・優先度とも高い事業は、予算配分の段階で優先されるのか。

事務局

・事務事業評価は実施計画や予算編成に反映することとしており、予算の段階で評価を踏まえた予算付けに努めている。

委　員

・緊急ショートステイサービス事業について、本来の目的から離れており事業のあり方を見直すことになっているが、現状はどうなっているのか。

・本来の使い方にした場合、困る人が出るのでないか。

事務局

・本来の目的とは離れ、ショートステイのつなぎに使われていることから、業務改善という評価を行った。

・緊急ショートステイは、介護保険のショートステイを使い切った場合緊急的に使うことを目的としたものであるが、今現在はショートステイに上乗せして使用されており、本来の目的とは異なることから事業の見直しが必要になっている。

・実際困るのは月に１日か２日程度であり、あくまで在宅支援の制度であるので、それぐらいはケアマネージャーと相談して自宅でお願いできないかと考えている。

（４）その他

【事務局】　任期終了に伴う意見具申について説明。

会　長

・節目であり委員会として意見をまとめたいと考えているが、次回以降委員から意見をいただきたい。

４　その他

【事務局】　次回の日程について説明。

第２回推進委員会　１１月２９日（火）午後１時３０分

５　閉会（15：00）